

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉東小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国と比較して高い結果となりました。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」の項目において高い定着がみられ、漢字を文の中で正しく使うことができる基礎的な力が備わっています。また、情報と情報との関係づけの仕方や、図などによる語句の関係の表し方を理解し使うことができおり、文章全体の構成や展開を考えるといった、「書くこと」「読むこと」における思考力・判断力・表現力も全国平均より高い水準にあります。一方で、「話すこと・聞くこと」の観点に関しては全国の正答率を下回る結果となりました。具体的には、資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫することや、理由や事例などを挙げながら話の中心が明確になるよう話の構成を考えることに課題があります。
- ・算数の平均正答率も全国と同程度で一定の定着がみられます。特に「数と計算」や「測定」の領域において、「四捨五入して概数で表すこと」や「整数と小数の減法の計算」といった基礎的な内容がしっかりと身に付いています。また、日常生活の問題を解決するために、図形の構成要素に着目して直方体の3つの辺の長さを捉え、条件を基に求め方を数や言葉で記述する力もみられます。一方で、「変化と関係」や「図形」の領域、および思考・判断・表現の観点に関しては課題が残る結果となりました。具体的には、「立方体の体積の求め方の理解」や「単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し混み具合を判断すること」、さらに「二つの表から集計の誤りを見つけ、その根拠を数と言葉を用いて記述すること」に課題が見られました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「学校の勉強のことにについて親や家族が子どもと話す」「学級で人と違う意見を言っても否定されないと思う」「毎日同じ時刻に寝ている」「将来の夢や目標を持っている」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「平日のSNS、動画視聴の時間」の「3～4時間」の数値が高いこと、「休日の学習時間」、「平日の授業以外の学習時間」と「読書時間」の数値も低いことが課題として挙げられます。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・国語の学習では、話すこと・聞くことにおける表現の工夫や話の構成力を定着させるために、資料を活用した発表の構成を考える学習や、理由や事例を明確にした言語活動に取り組みます。
- ・算数の学習では、変化と関係や図形領域における概念の理解と思考力・判断力・表現力を定着させるために、公式の意味を捉え直す指導や、数と言葉を用いて根拠を記述する活動に取り組みます。
- ・子どもたちの表現する力を育てるために、今後も一人一台端末を活用しながら、工夫して伝え合う活動を多く取り入れていきます。
- ・良好な友達関係を継続するために、引き続き、子どもたちが互いの良いところを認め合ったり、協力し合ったりする活動に取り組んでいきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・スマートフォン等でのSNS、動画の長時間視聴が、休日の学習習慣や読書時間に影響を与えている実態が見えてきました。「夜0時以降はリビングで充電する」「勉強中は別室に置く」などスマホ等と離れる時間をぜひ親子で話し合ってみてください。また、休日にも読書や学習に向かえる環境を家庭で整え、今後も規則正しい生活が送れるよう、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。